

商品名 ステラーラ点滴静注130mg 医薬品基本情報

薬効	3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品	一般名	ウステキヌマブ（遺伝子組換え）注射液
英名	Stelara	剤型	注射液
薬価	184085.00	規格	130mg 26mL 1瓶
メーカー	ヤンセンファーマ	毒劇区分	(劇)

ステラーラ点滴静注130mgの効能・効果

中等症から重症の活動期クローン病の導入療法、中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入

ステラーラ点滴静注130mgの使用制限等

1. 重篤な感染症、活動性結核、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	禁止
-------	----

2. 結核の既往、再発性感染症の既往、感染症＜重篤な感染症を除く＞又はその恐れ・疑い、結核又はその恐れ・疑い、肺外結核の既往、胸部画像検査で陳旧性結核又はその恐れ・疑い、結核既感染又はその恐れ・疑い、結核患者との濃厚接触歴、悪性腫瘍の既往、悪性腫瘍を発現し本剤投与継続を考慮している、アナフィラキシーに対するアレルゲン免疫療法、アナフィラキシーに対するアレルゲン免疫療法を過去に受けた、アレルゲン免疫療法を受けた、尋常性乾癬＜乾癬性関節炎合併を含む＞、尋常性乾癬、乾癬性関節炎、抗ウステキヌマブ抗体陽性、尋常性乾癬で糖尿病を合併

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	注意
-------	----

ステラーラ点滴静注130mgの副作用等

1. アナフィラキシー、発疹、蕁麻疹、血管浮腫、結核、結核再活性化

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	頻度不明
----	------

2. 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常、捻髪音、間質性肺炎

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	頻度不明
----	------

3. 重篤な感染症、蜂巣炎、憩室炎、骨髓炎、胃腸炎、肺炎、尿路感染

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	5%未満
----	------

4. 歯肉炎、うつ病、好酸球性肺炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 鼻咽頭炎、上気道感染、外陰腔真菌感染、带状疱疹、副鼻腔炎、頭痛、浮動性めまい、咽喉頭疼痛、鼻閉、悪心、嘔吐、下痢、皮膚そう痒症、発疹、蕁麻疹、ざ瘡、過敏性血管炎、関節痛、筋痛、背部痛、疲労、無力症、注射部位反応	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 抗ウステキヌマブ抗体陽性	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 結核症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 感染、結核活動化、悪性腫瘍、重篤な感染症、感染症、感染症増悪、皮膚悪性腫瘍、Infusion Reaction、発熱、悪寒、嘔気、嘔吐、頭痛、発疹、アレルギー免疫療法に影響、効果が低い、可逆性後白質脳症症候群、RPLS、非黒色腫皮膚癌を除く悪性腫瘍、非黒色腫皮膚癌、前立腺癌、結腸直腸癌、黒色腫、乳癌、皮膚基底細胞癌、皮膚有棘細胞癌、悪性腫瘍増大	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 抗ウステキヌマブ抗体陽性	記載場所	使用上の注意
	頻度	5%未満

ステラーラ点滴静注130mgの相互作用

1. 薬剤名等：生物製剤	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	禁止
2. 薬剤名等：生ワクチン	発現事象	感染症	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	禁止
3. 薬剤名等：アレルギー免疫療法を受けた	発現事象	アレルギー免疫療法に影響	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
4. 薬剤名等：アナフィラキシーに対するアレルギー免疫療法	発現事象	アレルギー免疫療法に影響	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
5. 薬剤名等：アナフィラキシーに対するアレルギー免疫療法を過去に受けた				

発現事象	アレルギー免疫療法に影響
------	--------------

理由・原因	-
-------	---

投与条件	-
------	---

指示	注意
----	----

ステラーラ点滴静注130mgの配合変化

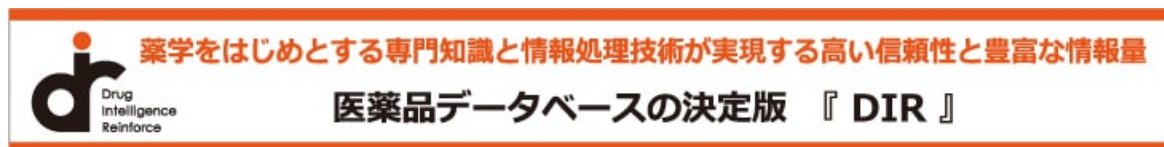
1. 薬剤名等：他の薬剤

発現事象	-
------	---

理由・原因	-
-------	---

投与条件	-
------	---

指示	禁止
----	----



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.